

# 安全パトロール報告

## 【5月20日のパトロールでの注意点】

### ◇草刈り作業・・・携行缶の使用は？

通常の安全確認のほか、今年度特に力を入れている**ガソリン**の小分けには「必ず携行缶を使用する」こと、にも目を光らしました。

現場では全員、携行缶を使用していて良かったのですが、車内に混合油が入ったポリ缶があるのが散見されました。

**ポリ缶よりも安全な携行缶にしましょう。**



## 【7月30日のパトロールでの注意点】

### ◇枝切り作業・・・安全対策はしてないの？

3人による枝切り・剪定現場では、事前指示を受けていたにも関わらず**ノーヘルメットのまま作業**中でした。ほかにも歩道への枝の放置、立て看板未設置もあり、基本的な安全対策がされていないと判断、**厳しく指導**しました。

口頭注意を受けても是正されない場合は、当該会員に対し**就業の停止**を宣言します。

この場合、**一定期間、就業することは出来なくなります。**

「安全はすべてに優先する」のもと、皆さんもさらに気を引き締めて下さい。



# 安全ニュース

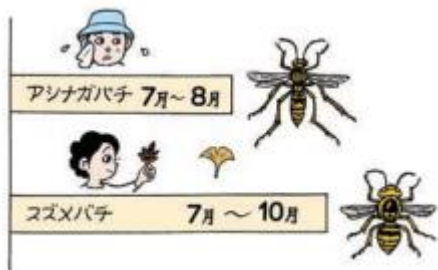
NO. 5  
令和3年8月

公益社団法人  
能代市シルバー人材センター  
安全推進委員会



## ハチに注意！

◇刺す蜂の中で怖いのは、スズメバチとアシナガバチで、夏から秋がピークで危険です。



### ◇蜂の攻撃の特徴

- \* 巣に接近すると、警戒態勢をとり、威嚇する。
- \* 巣に刺激を加えると、攻撃してくる。

### ◇蜂に刺されないために

- \* 巣に近寄らない。
- \* 巣を刺激したり、震動を与えない。

### ◇蜂の習性をよく知って対処（衣服の色、身なり）

\* 着衣に注意：黒いものは身につけない（出来るだけ白色系にすること）。

巣の近くで蜂を怒らせると色には無差別となる。

\* においも蜂を刺激し、攻撃の対象となる（ヘアトニック、香水、体臭、汗臭さ等）。



林業・木材製造業労働災害防止協会「蜂刺され災害を防ごう！」より作成

令和3年度 安全スローガン  
「いつまでも 働く喜び 無事故から」

# 高齢者のための熱中症対策

「熱中症」は高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。屋外だけでなく室内で何もしていないときでも発症し、救急搬送されたり、場合によっては死亡することもあります。

熱中症について正しい知識を身につけ、体調の変化に気を付けるとともに、周囲にも気を配り、熱中症による健康被害を防ぎましょう。



**部屋の中でも注意が必要です  
エアコンを上手に使いましょう**

**熱中症は、室内や夜間でも多く発生しています。** エアコン使用中もこまめに換気をしましょう。

- エアコンを上手に使いましょう**  
体に直接あたらないように風向きを調整しましょう
- すだれやカーテンを活用し直射日光を遮る**
- 換気をして屋外の涼しい空気を入れる**
- 窓とドアなど2カ所を開ける**
- 温度・暑さ指数を確認する**
- 暑いからエアコンつけてね!**
- 扇風機や換気扇を併用する**  
長時間、風が体に直接あたらないように注意しましょう

## ！ 高齢者は特に注意が必要です

- 1 体内の水分が不足しがちです**  
高齢者は若年者よりも体内の水分量が少ない上、体の老廃物を排出する際にたくさんの尿を必要とします。
- 2 暑さに対する感覚機能が低下しています**  
加齢により、暑さやのどの渇きに対する感覚が鈍くなります。
- 3 暑さに対する体の調節機能が低下します**  
高齢者は体に熱がたまりやすく、暑い時には若年者よりも循環器系への負担が大きくなります。

※心臓や腎臓の悪い方や持病をお持ちの方は、かかりつけの医師にご相談下さい。

